



学校だより

おい大空

平成 29 年 1 月 31 日
佐久平浅間小学校
NO. 10

3 学期を迎え、暖冬から一変、寒い日が続きます。今月は、インフルエンザの流行のため学級閉鎖を行ったクラスもあり、健康面で心配をしています。

さて、1 月には何度か週末に雪が降りましたが、休日に社会体育で学校の体育館を利用した長土呂の少年野球の皆さんや保護者の皆さんが雪かきをしてくださり、月曜日には不安なく学校をスタートすることができました。

雪降りの日には、たくさんの地域の方々や見守り隊の皆様、保護者の方々に、通学路の雪かきや児童の安全確保をいただいています。本当にありがとうございます。



<1 年生のけん玉遊び>

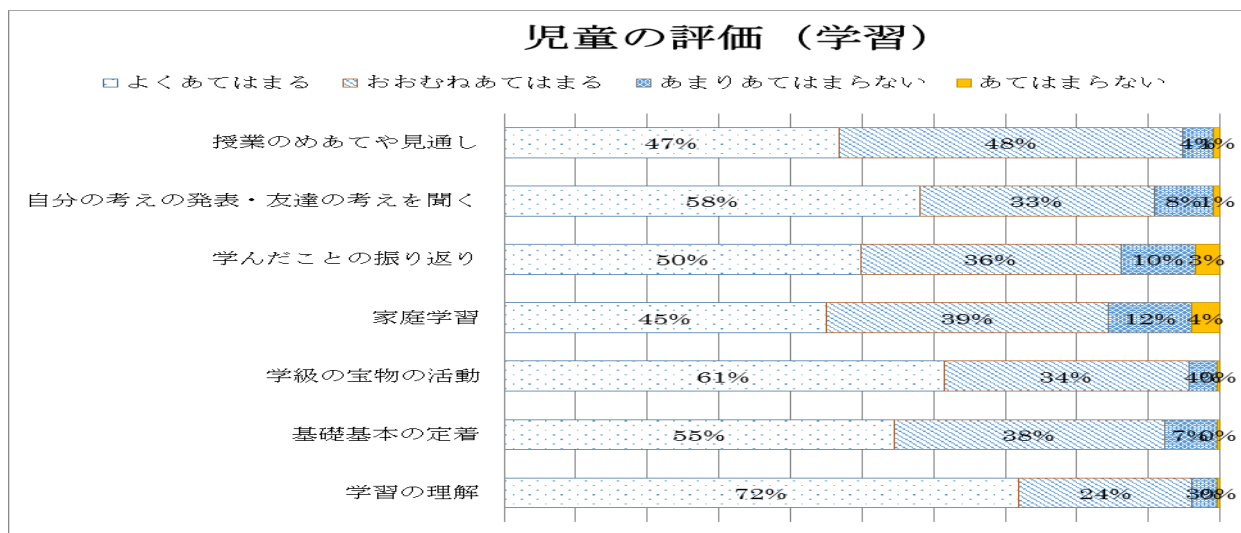
学校評価アンケートの結果から

1 2 月はじめに、「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。

児童のアンケートは、1 1 月に 4～6 年生を対象に学校で行いました。保護者の皆様からのアンケートは、回収率約 90% でした。昨年度よりもさらに多くの皆様の声を学校に届けていただきました。

地域や保護者の皆様が学校の取り組みを前向きにとらえ、積極的に、また、陰から、たくさんの協力をしてくださいました。また、改善の方向について提案いただいたこともたくさんあります。今回の結果を大切に考え、来年度の学校運営の課題として改善を図ってまいります。

<児童のアンケートから>



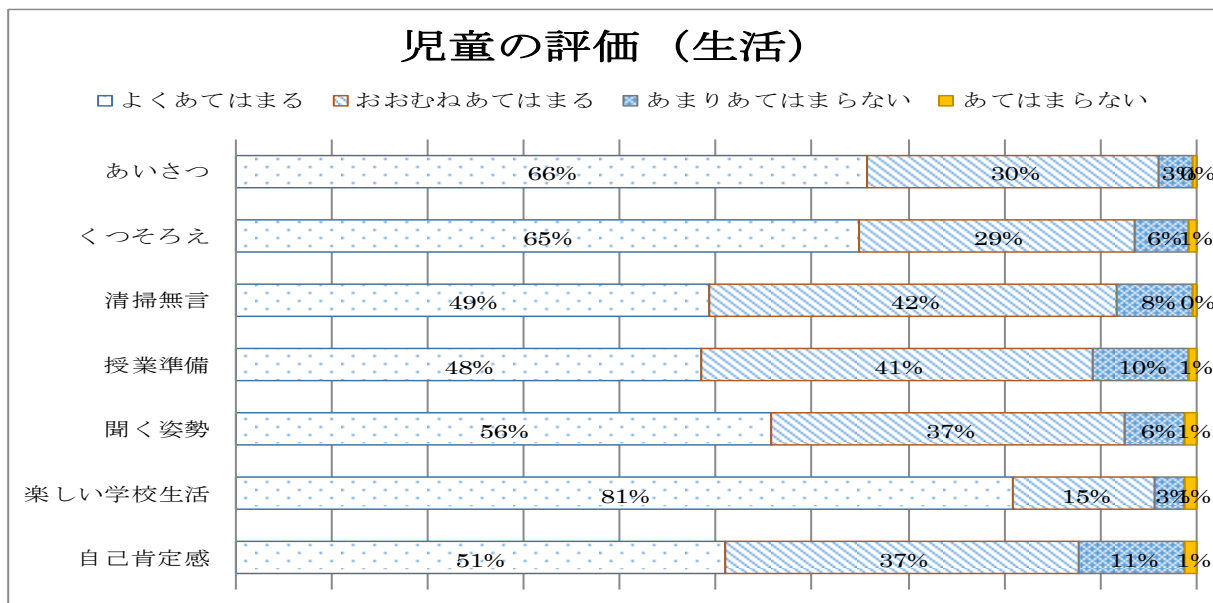
学習については、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせたものが、どの項目も 80% を超えています。多くの項目で 90% を超えており、昨年度よりも 10% 近く上昇しています。特に 2 学期に力を入れて指導してきた、「ノートのとめ方」や「授業の振り返り」により、子どもたちが力の定着を実感していることがわかりました。

3 学期は、ノート指導の充実をさらに意識し、1 時間の授業の流れがわかるような板書に力を入れたり、ねらいを明確にしたグループ活動を意識して取り入れたりしていきます。



<お手本となるノートの掲示>

児童の評価（生活）



96%の子どもたちが「学校が楽しい」と感じ、学習や友だちとのかかわりを行っています。残りの4%の子どもたちも「学校が楽しい」と感じられるように、これからも工夫を重ねていきます。

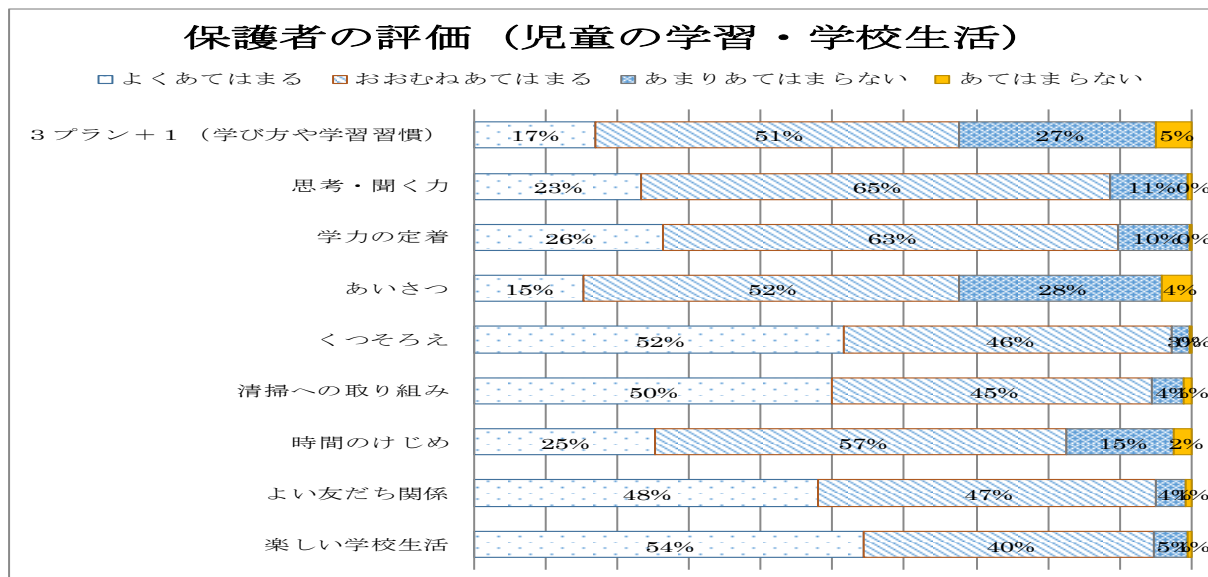
子どもたちは、「あいさつ」や「くつそろえ」に関して、90%以上の高い評価の回答がありますが、昨年度同様に、保護者や学校職員の実感とはずれがあります。子どもたちはしっかりと「あいさつ」をしていると感じていますが、多くの保護者の方から、登下校時や家庭での「あいさつ」「くつそろえ」についてもう一步向上したいという意見があります。

2学期は、児童会の中心活動として「ハイタッチあいさつ」を取り入れてきました。さらに、名札を付けて生活し、名前をよんであいさつをすることも行ってきました。徐々に向上していますので、家庭での日常の「あいさつ」や登下校時の見守り隊の方の「ハイタッチあいさつ」へのご協力などもいただきながら、さらに3学期も「あいさつ」の向上について取り組んでいきます。



<見守り隊の方とハイタッチあいさつ>

<保護者みなさんのアンケートから>



「あいさつ」については、前出の通り、33%が課題と感じています。昨年度よりも8%向上していますので、前出の通り、家庭、学校、地域で、共に大人が範を示しながら、「あいさつ」することがあたりまえの子どもたちを育てていきましょう。

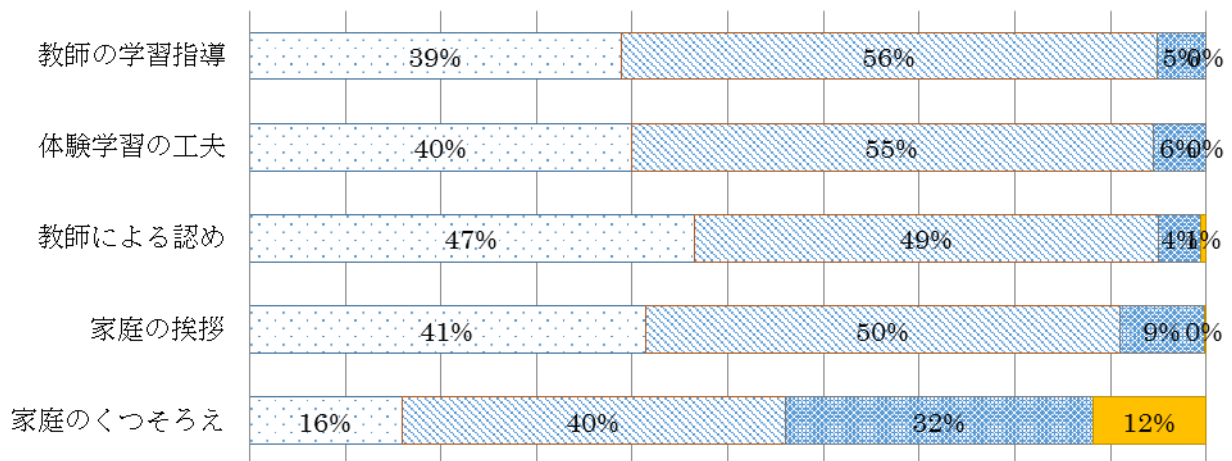
「3プラン+1」の学び方や学習習慣についても、32%の保護者が課題と感じています。子どもたちに学力をつけることに関しては、子どもたちの授業中の実感と保護者や学校職員の実感との差が見られます。身について使える力になっていくために、児童のアンケートのまとめで書いた「ノートのまとめ方」のほかに、友だちの考えと比べながら自分の考えを持ち、その違いを感じて、自分の考えを広めたり深めたりすることができるように、友だちとかかわる時間を学習に取り入れていきます。



<友だちと相談しながら学習>

保護者の評価（学校の教育活動・家庭生活）

□よくあてはまる □おおむねあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない



学校職員の取り組みに関しては、多くの保護者の方々に概ねよい評価をいただいています。ありがとうございます。この評価を励みに、さらに工夫を重ね、子どもたちの力が伸びるように指導を重ねてまいります。

学習指導以外でも、行事や学級の活動に対して、子どもたちが意欲的に取り組んだり、友だちや先生と関わりながら学んだりする姿に、好評価をいただきました。

また、学級の宝物の活動では、保護者の皆さまにも一緒に参加していただき、感動を共有していただきました。スケート教室などの行事にもお手伝いいただき、安全に学習することができました。学校の活動に保護者・地域の皆様のお力をお借りすることで、子どもたちを真ん中にすえて、安心安全な学校づくりをしていこうとする雰囲気ますます高まっています。

3学期にも、子どもたちのたくさんの笑顔がある体験的な学習を行ってまいります。



<やぎのもみじちゃんとの生活>



<安養寺ラーメンづくり>



<スケート教室>

アンケート記述項目について

～学校への要望等について～（抜粋）

たくさんのご意見・ご感想をいただきました。それぞれ個別に対応し、改善に向けて取り組んでおります。その中から、全体にかかわる内容について、一部ですがお答えします。

- ① 児童の気持ちに寄り添ったかかわりや指導を望む声をいただきました。登校渋りをする時、子ども同士のトラブルなどがあった時など、どの子にも考えや行動の背景があります。子どもたちの言葉や行動に寄り添い、それを踏まえた指導を心掛けてまいります。また、一斉にそろえる指導と個々の状況に応じた柔軟な対応の使い分けをしていきます。
- ② 友人関係のトラブルやいじめがない学校づくりを望む声をいただきました。学校は、子どもたちが集団で生活をする場ですので、友だちとのトラブルは必ず起きるといっても過言ではありません。その時にどのように解決をしていくかを学ぶことも大切な学習であると考えています。佐久平浅間小学校は、トラブルが起きた時に、一番早く解決できる学校を目指しています。
- ③ 保護者と学校との情報交換の大切さや複数の目で子どもを育てる必要性についての声をいただきました。担任だけでなく、学年や保健室、教頭、校長といったチームで子どもたちを指導します。気になることがあれば、担任以外のどの教職員でも結構ですので、ご相談ください。保護者と学校の早め早めの情報交換が、とても大切です。
- ④ 人とかかわり方について学ばせたいという声をいただきました。良いかかわりや行いをほめたり認めたりし、意見の違いや感情のぶつかり合いがあった時には、謝ったり譲ったりすることができるように、折り合いをつけるかかわり方を指導していきます。
- ⑤ メディアとの関わり方について、家庭と学校で協力して指導することを望む声をいただきました。ゲームやテレビの時間だけでなく、インターネットやSNSに関わるトラブルが世間でも問題となっています。佐久市の「子どもメディアサミット」の動きともあわせながら、3学期はすべての学年でメディアとの関わり方について学習します。子どもたちが、自分自身でどのようにメディアと関わるか、コントロールできることをねらっています。ご家庭でもご協力をお願いします。ただ、YouTubeなどの動画閲覧サイトは、13歳未満の子どもだけでの利用を禁止しているものもあります。ゲーム機を含むインターネットの利用については、必ず保護者の管理のもとで行ってください。
- ⑥ 安全確保については、その都度検討しています。登下校中の安全確保や通学路等については、対応の必要性を感じた時に、学校へお知らせください。

■ 2月の予定

2日（木）	児童会⑦
6日（月）	児童会長選挙
7日（火）	学校運営委員会②
8日（水）	来入児保護者会
9日（木）	5・6年スキー教室
10日（金）	3・4年参観日
14日（火）	1・2年参観日
17日（金）	児童総会②
21日（火）	準備児童会
24日（水）	5・6年参観日
28日（火）	学習室参観日



<読書旬間の職員による読み聞かせ>

□空間放射線量測定結果<測定日時：平成29年1月12日（木）15時30分>

- ・測定場所…佐久平浅間小学校中庭（天気…晴れ、測定高さ…5cm・50cm）
- ・空間放射線量…0.04～0.05 μ Sv/h（安心できる状況です）